

申請書類不備事例（共通編）

これまで提出していただいた中で特に多かった書類の不備事例について、下記のとおりまとめましたので、提出前に今一度ご確認願います。

- ・実印の押し忘れ

- ・代表者の職名（「代表取締役」等）の記入漏れ

No. 1 入札参加資格審査申請書

No. 3 使用印鑑届

No. 4 委任状（委任する場合のみ提出）

No. 9 特別徴収義務・誓約書（市内業者のみ提出）

No. 10 暴力団排除に関する誓約書兼同意書

- ・使用印が社名のみとなっている（社名のみは不可）

No. 3 使用印鑑届

No. 4 委任状（委任する場合のみ提出）

- ・振込先口座の記入漏れ（市内業者認定のため必須）

No. 4 委任状（由利本荘市内の営業所に委任する場合）

- ・証明内容の不足

No. 11 社会保険料納入証明書等

- ・年金事務所での証明書に厚生年金保険料、子ども子育て拠出金は記載されているが、健康保険料の記載がない。企業が設立した健康保険組合（例：△△工業健康保険組合）に加入している場合、健康保険組合からの証明書が必要です。

- ・領収印のある納付書を添付している。（納入証明書等でなければ不可）

この書類では未納がないことの確認をします。納付の猶予等をうけている場合、その旨がわかる書類も必要です。

本社の所在地や委任の有無によって、提出書類は違います。

別表での書類チェックは必ず行い、ファイルの 1 番上に綴って

提出してください。

申請書類不備事例（建設工事編）

これまで提出していただいた中で特に多かった書類の不備事例について、下記のとおりまとめましたので、提出前に今一度ご確認願います。

No. 1 入札参加資格審査申請書

- ・実印の押し忘れ。
- ・建設業許可を受けていない業種に希望（◎○■□）を記載している。
- ・法人番号の記載漏れ

No. 2 営業所等一覧表

No. 1 3 専任技術者一覧表

- ・営業所に希望している業種の専任技術者がいない。

No. 3 使用印鑑届

- ・使用印が社名のみとなっている

No. 6 技術職員調書

- ・記載した技術者の人数と資格を有している氏名の名簿との人数が一致しない

No. 1 5 秋田県電子入札システム利用者登録確認書類

- ・添付漏れ
- ・秋田県に登録していない

申請書類不備事例（測量・建設コンサルタント編）

これまで提出していただいた中で特に多かった書類の不備事例について、下記のとおりまとめましたので、提出前に今一度ご確認願います。

No. 1 入札参加資格審査申請書

- ・実印の押し忘れ。
- ・登録のない業種に○を記載している。
- ・法人番号の記載漏れ

No. 2 営業所等一覧表

- ・希望した業務で営業所が営業許可を受けていない。

No. 3 使用印鑑届

- ・使用印が社名のみとなっている

No. 6 技術職員調書

- ・記載した技術者の人数と資格を有している氏名の名簿との人数が一致しない

No. 1 2 登録証明書・通知書等

- ・契約先（委任する場合は委任先）となる営業所の登録状況確認書類が添付されていない。

No. 1 4 秋田県電子入札システム利用者登録確認書類

- ・添付漏れ
- ・秋田県に登録していない

申請書類不備事例（物品・リース等・役務の提供編）

これまで提出していただいた中で特に多かった書類の不備事例について、下記のとおりまとめましたので、提出前に今一度ご確認願います。

No. 1 入札参加資格審査申請書

- ・実印の押し忘れ。
- ・法人番号の記載漏れ

No. 2 営業所等一覧表

- ・委任先営業所の記載漏れ。（委任せず本店の場合は不要です）

No. 3 使用印鑑届

- ・使用印が社名のみとなっている

No. 5 営業種目一覧表

- ・実績調書に記載のない営業種目を希望している（実績がなければ希望不可）
- ・物品・リース等・役務の提供希望する業種それぞれに優先順位順に1～5番までを記載してください。（物品で1～5を選択、リース等で1～5を選択、役務の提供で1～5を選択と業種毎に記載してください）

No. 6 実績調書

- ・営業種目一覧表で希望した営業種目の実績が記載されていない（実績がなければ希望不可）

No. 1 2 代理店・特約店一覧

- ・代理（特約店）になっていなければ不要。